

9月6日（月）

## 星の観察

聖書朗読 詩篇147篇

主は、太陽を与えて昼間の光とし、月と星を定めて夜の光とし、海をかき立て波を騒がせる方、その名は万軍の主。  
エレミヤ31：35

子供の頃、夏の夜に庭に寝転んで星を見たものです。数を数えようとしたこともあります。できませんでした。宇宙は私の理解を超えているように思えます。

「神様が住んでいる天国はどこにあるのか」と考えました。そして、地球上で昼間になっている所にあるのだと結論づけました。それは聖書に「神には闇が全くない」と書いてあるし、昼間は暗くないからです。

今では天国が目で見ることができないからといって存在しない訳ではないと分かります。神様は存在しますし、神様の住まいは「世界のどこか」ではありません。私たちがよく見えないものは、すぐそばにあるのです！

細菌や細胞は顕微鏡を使わないと見えませんが、私たちはそれが存在すると分かっています。見えないからと言って、作り話であるとか想像に過ぎないということはありません。お互いの魂を見る以上に神様を見ることはできません。

星の観察をした幼い頃も成長した信仰を持った今も神様は私の理解を超えています。しかし、神様が存在することは確かであり、明けの明星である方にお会いすることも確かなのです。

讃美歌 II 219

祈り 親愛なる神様。あなたの素晴らしいみわざに圧倒されています。あなたの深い愛と世界の美しさをほめたたえます。いつの日か現在目に見える美しさ以上のものを見ることができのを知っています。今日私たちを祝福してください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョージ・V・モーテンセン  
ワシントン州 カークランド

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2021年9月6日～9月12日

翻訳 ハンコック・真由美  
(コールド・スプリングスキリストの教会)

編集 野口 恵美子

9月7日 (火)

## 人生の目的

聖書朗読 詩篇150篇

息のあるものはみな、主をほめたたえよ。ハレルヤ。 詩篇150：6

お店に行ったものの買いたいものを買って忘れてしまった経験がありますか。私は昨日買い物に行ったものの牛乳を買って忘れてしまいました。しかし、それは大した問題ではなかったのです。なぜなら、牛乳を買うことが私の買い物目的ではなかったからです。

買い物を「旅」という言葉に置き換えます。旅の目的はたくさんの物を家に持って帰ることはありません。成功した旅イコール目的を果たした旅です。人生という私たちの旅の目的は何でしょうか。

人生の目的は「神をあがめ、神を永遠に喜ぶこと」であると信仰を語られることが往々にしてあります。これは聖書各所に書いてあります。「わたしのために造ったこの民は、わたしの栄誉を宣べ伝えよう」(イザヤ書43：21)。「あなたがたの光を人々の前で輝かせ」(マタイ5：16)「あなたがたは、……、神の所有とされた民です」(1ペテロ2：9)。

世の中では、私たちを「消費者」と呼びますが、私たちは消費のために存在しているのではなく創造主であり天の父を敬うために存在しています。今日 私たちの最も重要な目的を思い出しましょう。今日やる事が如何なるものであっても、私たちの主に賛美をもたらすものにならなければなりません。

讚美歌 II 145

祈り 聖なる神様。人生の目的を思い出させてください。私たちの人生を使って今日そしていつもあなたをあがめさせてください。

イエス様の名前によってお捧げいたします。アーメン。

サイヤー・サリブリー  
オハイオ州 トレド

9月8日 (水)

## 神様の御心を探す

聖書朗読 詩篇148：1～14

主の近くにいる民 詩篇148：14

「天において」(詩篇148：1)「主をほめたたえよ」と詩人は言います。全世界の神が住んで支配している所で主をほめたたえるのはどんなに簡単なことでしょうか。御使たちも神様のご臨在を祝っているではありませんか。私の存在はそれとは全く比べ物にならないほどです。

「主をほめたたえよ すべての輝く星よ」(詩篇148：3)また、神様がお造りになった奇しきものをほめたたえよ。それらの被造物は主をたたえずにはいられないのです。創造主の威厳を表さずにはいられないのです。砕ける波や稲光などの神様の創造物を人間が変えることはできません。神様のみわざを見ることで、神様の存在を見ることができます。さて、私の中にどんな神様のイメージを見ることができるでしょうか。

確かに「地の王たち」(詩篇148：11)は、神様をほめたたえる機会がありました。彼らの周りの芸術家や専門家は、神様のご用のために時間も努力も惜しみなく主をたたえることに使うことが出来ました。しかし、ダビデは、贅を尽くして主をほめたたえるのではなく、ただ常に主に礼拝することを選びました。それこそが主にある礼拝ではないでしょうか。

王ではない私たちのことも詩篇148篇12節に書かれています。私たちは地上から天国を一生懸命に見上げています。神様をたたえる私の声は神様に聞こえているのかと思ひながら。

私たちは、この聖書の箇所を通して、神の創造が礼拝に繋がっていることに気付きます。つまり、私たちは誰もが自然を通して「主の近くにいる民」(14節)であることに気づくのです。

讚美歌 329

祈り 誰が天地創造での出来事からイエス様を通して救いへと導くことを想像することができたでしょうか。そのイエス様を通してあなたが私たちのすぐそばにいて下さることを感謝します。私の人生はあなたの犠牲によって与えられています。

イエス様の御名によりて。アーメン。

デービット・レムリー  
カリフォルニア州 マリブ

9月9日(木)

## もう一度聞かせてください

聖書朗読 マタイ5：43～48

「自分の隣人を愛し、自分の敵を憎め」と言われたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。  
マタイ5：43～45

私の前を歩く男性のTシャツにこう書いてありました。「神様、私の隣人を憐れんでください。私は憐れんがりしませんので。」こういう言葉を毎日聞いたり読んだりする時代に生きています。そして、それが日常化してしまっているのです、そういう言葉に驚かなくなってしまうました。

こういう文化の問題点は、感情の赴くままの行動を評価していることです。無視したり、怒りの言葉を投げたり、非難したりすることを期待されたり学んだりするかもしれません。そして、そういう行動に加わることもあるかもしれません。しかし、イエスさまは私たちに異なる考えを持つように話されました。「天におられるあなたがたの父の子どもになるため」に「あなたがたの天の父が完全であるように、完全でありなさい。」

どのようにして完全になることなどできるのでしょうか。イエス様は「自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と言われ、後には「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分が何をしているのかわからないのです」と十字架の上から敵を見ながら言われました。

私たちは、聞くのも読むものすべてに賛成するように求められてはいません。しかし、私たちは迷った言葉や生き方を推奨する人たちをさえ愛するように求められているのです。

讃美歌 II 191

祈り 私たちのお父様。困難な時でもあなたを信頼します。イエス様の命を奪った全く考え方の違う人たちさえ愛そうとなさったイエス様の模範をありがとうございます。私たちと全く違う考え方をする隣人を愛することができますように助けてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

スティーブン・S・レムリー 共同編集者

9月10日(金)

## 私の名前を知っている方

聖書朗読 ヨハネ20：11～18

私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。  
ヨハネ1：16

数年前に私の名前が人気の名前ランキングに入ったことがあります。スーパーで自分の子どもを探すのに「エイミー」と呼んでいるお母さんもいましたし、校庭で「エイミー」と叱る先生の声も聞きました。まるで女の子全員の名前が「エイミー」であるかのような感じでした。そういう時「エイミー」と誰かが呼んでも私は返事をしませんでした。それは、彼らは私の知らない人だったからです。彼らは私を呼んでいるわけではなかったのですから。しかし、長年連れ添った夫が私の名前を呼ぶときは返事をします。そして、両親が私を呼ぶ声も覚えています。あなたの名前は、例えいろんな呼ばれ方をしたとしてもそれはあなたを呼んでいるのです！

マグダラのマリアは空の墓の外で自分の名前を呼ぶ声を聞きました。自分の名前を！それは、自分がどうしようもない困難な中にあった時に彼女の名前を呼んだ声でした。(ルカ8：2) 自分の財産を持って彼らに仕える事のできる人(ルカ8：3)だと見抜いていた声でした。彼女の名前を呼ぶこの出来事は、自分の人生はもう終わりだと思っていた彼女に目的をもたらしました。

もう二度と彼女の名前を呼ぶ声を聞くことはないかと失望しながらイエス様の亡骸を探しました。そして、「マリア！」と力強く呼ぶ声を聞いたのです。間違いなくイエス様の声でした！

神様はあなたの名前をご存知です。あなたを心から愛しているという親しみを込めて呼びます。神様はあなたの存在もあなたの過去もよく知っています。あなたと他の誰かを間違えるようなことはないです。神様はあなたに意味のあることを用意して下さっています。

讃美歌 II 188

祈り 主なるイエス様。あなた様の前にひざまずいて礼拝いたします。あなたが私の名前を呼ぶとき聞くことができますように。そして、あなたが私に示してくださっていることをすることができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エミリー・Y・レムリー 共同編集者

9月11日(土)

## 主は備えてくださる

聖書朗読 創世記22:1~19

疲れた者には力を与え、精力のないものには活気をつける。

イザヤ40:29

イサクは父アブラハムがどこから全焼のささげ物の羊を準備するのか心配しました。アブラハムは「神ご自身が備えてくださるのだ」と答えました。アブラハムは神様が仰せられた通りに自分の息子を全焼のささげ物として捧げ礼拝するために息子を連れて山に入り信仰を持って歩いていました。彼は神様が死から生き返らせてまでもイサクを跡継ぎとしてくださると信じていたのです。なんという信仰でしょうか！

イザヤ書40章31節には、身体的にも感情的にも霊的にも全てを使い果たし限界を感じてしまうような時でも神様は主を待ち望む者には強さと力を与えてくださるとの約束が書いてあり。神様が新たなエネルギーをくださいます。

アブラハムは、イサクと一緒に山を登ってきた若者たちに「ロバと一緒にここに残っていないさい。私と息子はあそこに行き、礼拝をして、おまえたちのところに戻って来る。」と言いました。

あなたは、この若者たちのように訓練を受けている人たちを待っている最中ですか。イサクのように心配しながら答えを待っている最中ですか。または、神様はどうにかして備えてくださるといふ強い信仰を持っている人ですか。あなたがどのように考えていようと、神様は最善を尽くしてくださるのだと信じ続けましょう。神様はあなたを愛して止まないのですから。

聖歌 424

祈り 天の父よ。私たちは待っています。あなたの約束を待っています。訓練の只中であなたの力を感じることを待っています。神様が備えてくださるのを信じ続けます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロル・ローズ  
コロラド州 ペブロ

9月12日(日)

## 救い主

聖書朗読 出エジプト記 6:28~7:13

主は私の恵み、私のとりで。私のやぐら、私を救う方。 詩篇144:2

私の家の敷地にはへびもいます。72種類の無毒の蛇と4種類の有毒のへびがいます。へびを見るたびにゾッとしますし、エデンの園で神様に呪われた様子を思い出します。どんな種類のへびでも見かけたら、鋏を手に取りへびをやっつけるか逃げてくれることを祈ります。

イスラエルの子孫たちは、毒へびやコブラが生息するエジプトに住んでいました。そこではへびを神として礼拝していました。モーセはそこで育ちましたが、羊飼いになりました。彼は杖を使って羊たちを誘導していましたが後に神様がその杖を地の上に投げるように言われた時にそうすると杖はへびに変わりました！これはまさにファラオの宗教と権威に対する挑戦でした。神様がイスラエルの民を救い出す時、モーセはサタンの力に対抗するために杖を使い続けました。この民は私たちの偉大なる羊飼いである主イエス(ヘブル13:20)を迎える準備をずっとしてきました。この方こそ悪魔を打ち砕いた私たちの救い主なのです。

讃美歌 379

祈り 主なるイエス様。あなたから目を逸らさないで悪魔の悪巧みに気づかせてください。私の救い主である主をほめたたえます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ビバリー・ブレドソー